

庄内町地域公共交通会議 会議録

- 1 開催日時 平成 29 年 3 月 24 日（金） 13 時 30 分～14 時 30 分
- 2 開催場所 庄内町役場 西庁舎 第二会議室
- 3 出席者 庄内町副町長 奥山 賢一
東北運輸局山形運輸支局 主席運輸企画専門官 保坂 浩昭
（一社）山形県バス協会 庄内交通㈱ 取締役 高橋 広司
（一社）山形県ハイヤー協会 余目タクシー(有) 代表取締役 後藤 一司
庄内町自治会長会 第四学区自治会長会会長 佐藤 一
庄内総合支庁 総務課連携支援室 室長補佐 小松 弘幸
庄内警察署 署長 塚本 憲明
庄内町商工会 理事 (有)立川タクシー 代表取締役 阿部 豊
庄内町社会福祉協議会 総務福祉課福祉係 小林 翠

（計 9 名）
- 4 事務局 情報発信課 課長 小林 裕之
課長補佐兼地域振興係長 加藤 淳
地域振興係主事 高橋 実花

委嘱状交付

(13:30)

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

- (1) 庄内町営バスの運行状況について
- (2) 庄内町デマンドタクシーの運行状況について
意見・質問等なし

4 協 議

- (1) 自家用有償旅客運送の更新登録申請について

【質問・意見等】

委 員：考えに考えられた案だと思うが、これは 1 台で全部回すのか。路線の中を 1 台で回すので一筆書きになると思うが、可能であれば 2 パターンに分ければ回る時間も短くなりより効率的かと思う。

議 長：地方創生事業なのか。

事 務 局：地方創生事業である。内回り外回りなどとし 2 台により 20 分間隔で回るなど理想的な運行形態について検討したが、まずは地方創生交付金を活用しての事業であることから、結果を検証しながら、指摘いただいた部分につなげ

たいと考えている。

議 長：町が国に出している地方創生の計画に盛り込ませていただいて、国からいただいた公金で実験的に取組ませていただく。地方創生はK P Iという数値で効果を実証する必要があることから、皆様に乗っていただけるよう努力を続けながら次のステップへ進むということになる。

委 員：バス時間についてだが、1便が午前10時2分に戻り2便が10時10分に出発すると、この間5分前後だが少し短いのではないかという感じがする。

議 長：運転手は1人というわけではないのか。

事 務 局：午前便は1名の方と考えている。また昼休みをはさんで1名となる。1便と2便の間に10分ほどの時間があるが、この部分については連続してほしいほうがよいと考えている。運行については委託したいと考えているため、運行形態については委託先で運行時間に合わせて運行できる人員をご提示いただければと思っている。

委 員：今この質問をしたのは、トイレなどを5分で終わられるかと思ったからである。

事 務 局：便と便の間が8分になっているが、約40分おきに8分の休憩となっているので差支えないと思っている。例えば、1便2便は続けて回り、2便と3便の間にもう少し長い休憩を入れることも考えたが、今は示した案で考えている。昼休みについては、午前便と午後便の間に40分～50分入れ人員交代することとさせてもらっている。

便ごとにもっと長い休憩を入れたほうがよいか。

委 員：2便と3便にもう少し時間があればと思う。

事 務 局：幹線路線との乗継を考慮に入れながら、今指摘のあった部分について実際の運行までに調整は可能かと思う。

町営バスの運転者から色々聞いているが、各停留所の時間設定について、私たちは長いほうがよいと思っていたが、運転手は長いと早発につながるので間隔は長くないほうがよいと指摘を受けた。専門家から見れば修正点があればご指摘いただきたい。

委 員：時刻の関係であるが、請負った事業者が午前と午後で運転手を1人ずつ配置するとなると、拘束時間や連続運転時間に決まりがあるため、1人で回そうとすると無理である。

議 長：交代しなければならぬということか。

委 員：そうである。

事 務 局：連続運転時間は4時間ごとに休憩すると確認している。

委 員：10分に満たないものは休憩にカウントできない。

事 務 局：その点については確認させていただきたい。

議 長：人的に替えられるか休みを入れるかである。

委 員：請負った事業者で人を回せられればよいと思う。

(1) について承認された。

(2) 自家用有償旅客運送の更新登録申請について

【質問・意見等】

- 議 長：中心市街地のバスは壊れたらどうするのか。
- 事 務 局：代車対応ということで仕様書に記載している。
- 委 員：使用料の減免措置が書いてあるが、この中に運転免許証の返納と入れていただけるととても助かるのだが。
- 事 務 局：その件については、本町のバス使用料は他の自治体に比べて低額になっており、これは福祉サービスという面で当初の料金からすでに割引された金額で設定しているということでご理解いただきたい。今後特別なサービスは検討していない。
- 委 員：言われたとおり、65歳以上や70歳以上であればほぼ運転免許を返納する年代と同じであると思うが、去年の半ばから高齢者の交通事故が多発しており、そういった方々が地域公共交通網を使いやすく、免許証を返納してから生活できるように返納した後の割引制度があれば返納しやすくなることも考えられるということからのお願いである。
- 事 務 局：今の件については、免許を返納されるとタクシー券を交付する制度がある。免許返納する方がすでに65歳以上の年齢に到達していることもあるので割引に直結している現状もある。若くして返納した方への配慮については必要かと思うので、タクシー券交付を担当する総務課危機管理係と検討の上、今後そのような制度を盛り込めればと考えている。
- 議 長：庄内町は免許証を返納した方にタクシー券2万円分を1回でなく毎年差し上げている。他の自治体は1回限りのところが多いが、庄内町は毎年タクシー券を使用できるし、年齢が一定になれば町営バスも無料になるので、移動支援はそれなりにあるのではないかと思う。
- 委 員：使用料の割引については、証明するものなどはあるのか。
- 事 務 局：申請のあった方について、ゴールドパスという健康保険証サイズのパスをお渡ししており、乗車する際に提示いただくことで無料としている。
- 議 長：ゴールドパスは何人くらい発行するのか。
- 事 務 局：平成26年度までは、年齢に達した方に町から自動的にパスを送付していたが、あまり利用が進まなかったため現在は申請制を取っている。年間50人いない程度だと思う。
- 議 長：顔写真は入っているのか。
- 事 務 局：顔写真はなく、氏名と生年月日のほか、ゴールドパスかシルバーパスの記載がある。
- 議 長：違う人が使うということはないのか。
- 事 務 局：申請者が50人で、運転者がパスを見なくてもほぼ利用者を知っているという状況のためそのようなことはないと思うが、今後利用者が増え顔写真が必要になることも考えられる。
- 委 員：バスの運転手は、乗車人数を書く作業があるが、この時刻表で書きながら

運転することは可能なのか。仕事が増えすぎると事故につながる可能性はないか。

事務局：当初今より長いスパンで時刻を設定したところ町営バス運転手から長いと指摘があった。一番心配されるのは積雪時で、これまで何十回と試験運行をしたが、この時間設定で早発はないと考えている。仮に時間を長く設定すると、一箇所に長く停めている必要があるので交通の妨げになることを運転手は心配していた。今指摘のあったことについては、町営バスの運転手から挙がらなかった。

委員：10人乗りの車両とあるが、定員オーバーの場合はどうするのか。

事務局：お断りするしかない。40分で1周するので、この路線を使う方はあまり急がないのではないかと考えている。

委員：他の路線だと定員オーバーの場合、役場へ電話をすると迎えにきてくれたが。

事務局：公用車で対応していたが、それは2～3時間あるいは半日に1本の運行しかないで、それに乗れないと1日動けないというケースのため対応していた。今回の新路線は40分での運行なので、お断りして次の便を待っていただくこととなる。定員オーバーが多発した場合は、車両の増加も視野に入れたい。

委員：訂正である。中心市街地循環路線について、バス車両だと思っていたので連続運転について話してしまった。ジャンボタクシーでの運行なのか。

事務局：そうである。ワゴン車である。

委員：そうすると連続運転について問題ない。

委員：2便と3便の間の時間を空けるのはよいと思う。

事務局：1便ごとではなくということか。

委員：2便くらいまでは続けていいが、3便の前に休憩と入れるとよいと思う。

委員：バスの乗車人数のカウントはどのようにしているのか。

事務局：利用者のカウントは、運転手の目視でカウントしている。

委員：何かチェックしているのか。

事務局：各停留所で何人という形でカウントしている。

委員：全部のコースを回る前に定員を超えた場合の対応はどうなるのか。

事務局：お待ちいただくないが、事前に10人乗りのワゴン車であることは十分周知を図りたい。

モニター乗車をして好感触なところもあったので、定員オーバーが多発する場合は、来年度になるが増車を検討したい。

委員：増車する場合は、ジャンボタクシーでなくても、普通車でもよいと思う。

事務局：始めはマイクロバスも検討したが、街中ということで道路の幅員や、20人というキャパの必要性について検討し、今の車両となったが、普通車も可ということであれば、20分に1便運行が可能となって利用者にとっては使いやすいのかと思う。

(2) について承認された。

6 その他

委員：仙台空港及び大阪行き的高速バスが4月以降運行開始になるのでご利用いただきたい。

また、参考資料のアンケート結果で、バスについて知らないという方が多いので、実証運行のほか住民の方への体験学習などを通じた周知や利用促進なども行ってはどうかと思う。

7 閉会 情報発信課長

(14:30)